

秋田で暮らす

移住者の期待と不安

仕事のこと、生活のこと、お金のこと
人付き合い、習慣、風土、気候、健康など…

創刊にあたって

移住者応援マガジンの定住生活へのインタビュー

秋田県に移住して来られた方々が秋田の良さや特性を知り地元への愛着心を育むとともに、地元の方々が移住者への関心を高めて頂けるように、移住者の定住力アップへの応援マガジンを制作発行いたしました。移住定住者の活動状況や暮らしの情報、交流会などの活動の紹介等を掲載しております。

特に秋田県外の出身者にとって移住後の暮らしや仕事等、悩みや困った事など、住み慣れるまでには多くの難関があると思います。この冊子が、そんな移住者への少しでも救いのヒントになればと思います。また、これから移住される方や移住して間もない方にも少しでもお役にたてる事ができれば幸いです。

可能であれば、今後とも継続して発行して行ければと思っておりますので、ご支援の程よろしくお願い致します。



[CONTENTS]

- 01 創刊にあたって 目次…………… 秋田に暮らす元気な移住者の実例紹介(6名)
 - 02 移住者① 吉田紀子さん…………… 仙北市 カフェ&英語教室経営
 - 03 移住者② 高橋了介さん…………… 北秋田市 地域おこし協力隊
 - 04 移住者③ 後藤仁美さん…………… 大仙市 カフェ経営&社会人落語家
 - 05 移住者④ 土屋和久さん…………… 仙北市 個人事業主
 - 07 移住者⑤ 森山大輔さん…………… 三種町 農業
 - 09 移住者⑥ 小田野直光さん…………… 仙北市 地方公務員
 - 11 移住ネタ立ち話コーナー…………… 住んで実感!移住して良かった事
 - 12 初めて雪国暮らしをする移住者へ… 積雪対策の備えあれこれをご紹介
 - 13 仙北市移住者の会の紹介…………… 平成30年度の交流イベントご紹介
- 背表紙 あきくら編集部が選んだ「秋田県の3みたい」

移住者インタビューへLife & Hope

移住先：仙北市

2017年5月 横浜市から移住
年齢◆50代 移住前のご職業◆公務員
移住後のお仕事◆カフェ、英語教室経営

01 吉田 紀子 さん



「移住前と後での暮らしの変化で大きかった事は?」 「のんびり学校のチャイムを聞く」

「きりぎりしに起きて、出勤の準備をし、朝ごはんも食べずに家を飛び出す」そんな生活を30数年おくりました。通勤の途中、犬を散歩させている人などを見かけると、のんびりしていいなあと思いました。娘たちが中学の頃はお弁当作りもあり、いったいどうやっていたのか、奇跡的に乗り切った現在にたいして、

現在の武蔵野のアパートでの朝は、のんびりして、8時10分ころの学校のチャイムを遠くに聞きながら起きます。あのチャイムに追い立てられていた自分を懐かしい気持ちで考えます。ゴミ捨てをしにいくと、捨て場所のすぐ横にマリーゴールドの花壇があります。大きくなってきたなと思ったり、松ぼっくりを拾ったり、たまにグラウンドを走ったり、山を見たりします。こんなにのんびりした生活は、小学生以来かもしれません。

「移住前の予想と違っていた事は?」

「趣味のサークルや地域活動の豊かさ」

地域の皆さんの様子を見てみると、80代の方が活き活きと趣味のサークルや習い事などを楽しんおられます。公民大学の素晴らしい活動、グラウンドゴルフ、カラオケ、合唱、俳句、短歌、民謡などなど、やりたいことがあったら地域の方に相談すると必ずしっかりと運営されているサークルや地域活動を教えていただけます。これは、意外に都会では難しいことだと思えます。なんでもありそうですが、いっぱいあります。どこに属したらいいか、迷っているうちに億劫になりそうですし、また費用も高価です。仙北市ですとなんだか、安心してまた、楽しく活動に加えていただけたらいい感じがします。



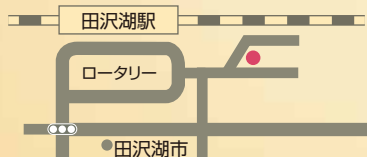
私は、生保内節を習いたいです。少し慣れてきましたら、西馬音内盆踊りをやりたいです。公民大学で陶芸もいつか習いたいです。俳句、ロードバイク、テニス、フラダンスは一人で行くか少しづつかと思っています。このように、やりたいことに取り組みる環境にわくわくします。

「現在の仕事や活動など取り組んでいること」 「役割を探して」



隠れ家カフェでホッとひと息
Cafe モロビ

◆田沢湖駅から徒歩1分 ◆定休日 月曜・火曜
◆営業時間 10:00 ~ 18:00



私は現在、田沢湖駅前にてわずか八席の小さなカフェを運営しています。2019年の2月で1周年になります。水曜日から日曜日の朝10時から夕方18時までの営業です。地域の方々、旅行の方々もホッと息つける場所として使ってもらえるように、日々何か新鮮さを加えられるように工夫してまいりたいと思います。地域の中で、このカフェが、他のどのような役割を担えるのかは模索中ですが、営業を続けることにより何かしらの価値を地域に加えることができるようになったらいいなと思います。